



杉二だより

令和 5 年度 1 2 月号
 杉並区立杉並第二小学校
 〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1
 TEL 03-3313-0564
<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>



杉並第二小学校 校歌

霞たなびく 武蔵野の
 尾崎の丘に そびゆるは
 その名ゆかしき 杉並の
 緑輝く 第二校

緑もはゆる 夏草の
 寒きに匂う 紅梅の
 強き心と 身を持ちて
 やさしく強く のびゆかん

杉並第二小学校は、明治 17 年 2 月 3 日に東京府東多摩郡成田（せいでん）尋常小学校として全校児童数二十数名、二十二坪の茅葺校舎でスタートをしました。もう 139 年も前のことです。実は、開校の年、この校歌はなかったのだそうです。出来上がったのは、大正 13 年（1924 年）ごろ、今から約 100 年ほど昔になります。大正 13 年当時いらした校長先生の時代、児童がどんどん増え、新しい校舎が建つ…という杉二小の発展の途上で創作されたということだそうです。

作詞されたのは、当時の校長、第 12 代校長吉住作次郎先生と当時教頭先生であり、第 13 代校長も務められた吉川良弘先生だそうです。

この歌詞の素材について、当時の校長先生は二つ、述べられています。

一つは「尾崎の丘」というところ。この「尾崎の丘」というところは、杉並の中で一番高台だったそうです。そして土地が大変よく、畑では作物がよくできるとのことです。この土地を学校に提供する時は、地主さんがとても惜しかったそうです。それが杉並第二小学校になりました。

そして、「尾崎」という地名の由来について、こんな逸話があります。かつてあの八幡太郎頼家が奥州征伐に行くとき、この地で源氏の白幡のような瑞雲があらわれたため、大宮八幡に参拝したそうです。その瑞雲が見えたあたりを「白幡」、尾のあたりを「尾崎」と名付けたそうです。（大宮八幡宮縁起より）

とても縁起のよい地名のため、校歌の歌詞にぜひ「尾崎の丘」を取ってつけると決めたということです。

もう一つ。一番の「緑輝く」と二番の「緑もはゆる」とあるところについてこう述べています。

戦争中、杉二小の周りにはお宮があって、緑に囲まれ、空から見るとぼんやりとしてよく見えなかったそうです。したがって、的になって空襲される心配はないということも、卒業生の中に飛行将校になり、この杉二小の上を飛んだ人が話してくれたそうです。終戦後、その通り校舎は全く無事だったそうです。こんな不思議な学校はないと思ったそうです。この辺り、西田小学校も杉並第七小学校もみんな空襲にあっていて、非常に恵まれていたのではないかと。つまり、緑に囲まれているのは、人にとってもいいことだけれど、学校のためにも緑があって助かったなあと歌詞に入れたことを振り返ったそうです。杉並第二小学校で時を共にした方々の想いがこの校歌にこめられていることがよくわかります。来年 140 周年を迎えようとする今、豊かな地域を感じられる校歌として歌い継がれてきたことをとても誇りに思います。

参考:杉並第二小学校創立八十周年記念誌

新校舎関係の予定変更について グラウンド完成予定について

○令和 7 年 11 月頃 予定 → 遺跡発掘調査のため ○令和 8 年 3 月末頃 予定 に変更になります。

○にこにこだ せかいのみんな あいさつで
2 年 児童作品

○あいさつは みんなの笑顔 さかせてく
5 年 児童作品

○あいさつは 心を動かす スイッチだ
6 年 児童作品

12 月の生活目標 「進んで仕事をしよう」

今年も大掃除の時期がやってきました。係や当番の仕事は、友達と協力して、しめくくりの活動をします。また、各自の机やロッカー、靴箱の中など、身の回りもきれいに整えるようにします。清々しい気持ちで新年を迎えられますように。